

年頭のあいさつ



横越村長 浅見良一

十月一日町制に向けて
村民の皆様明けましておめでとうございませう。

昨年からは新年早々に阪神・淡路の大震災から始まり、オウム真理教・サリン事件、更には金融

界の不良債券にからむ不祥事件等々。日本の政治経済・社会は大きく揺れ動き不安を禁じ得ませんでした。本村におきまして、アパートの全焼火災、加えて十七年ぶりの豪雨災害があり誠に厳しい年でありました。一方、村民が待望しておりました総合体育館の竣工と地域の活性化につながる横雲パイパスが開

通する等、明るいニュースもありました。さて新年は、村民の夢であった「横越町」誕生の記念すべき年であります。昨年、町制に関するアンケートをお願いしました結果、「町を望む」に六十％を超える賛同がありました。一方、「村でよい」とするものが二十六％ありました。その他郷土を思えばこそのご提言も多く何れも貴重なご意見として肝に銘じて参りたいと思っております。

も進み、町としての条件は十分整ったと、内外から認められるようになりました。これも偏に先人の努力と村民のご協力の賜ものであります。町制は、十月一日を目途に準備を進めておりますが、町だからといって見栄を張るのではなく、歴史と自然に育まれた伝統ある産業文化の発展と、明るい豊かな村民性をより高め風格をもった横越町を願っているものであります。

ズに対応する特別養護老人ホームを中心とする福祉ゾーン計画の推進、保健センターと勤労者福祉センターの建設、国道49号歩道の完成と県道(赤道)と横木農道(二本木(横越))の整備の推進を図っていくものであります。何卒村民皆様のご理解ご協力を切にお願い申し上げますとともに、益々のご多幸をお祈り申し上げます。平成7年10月1日現在

今年の子ね年



今年の子ね年。昔は夜になると、ネズミが天井裏を走り回り、チュウチュウと鳴く声が聞こえたりしたものです。最近には純粋な日本家屋が減ってきているためか、

家屋の構造が変わってきたからか、都会では天井裏を走り回ったり鳴いたりしているネズミは、少なくなってきたのではないのでしょうか。ネズミは、数も種類も多く、ほ乳類の約半数、千七百種を占めるといわれています。しかも、ほぼ全世界に分布しています。ネズミ算という言葉もあるように、繁殖力がおう盛で、一回に二十四の子を生む種類もあります。身近な動物だけに、ことわざにもしばしば登場します。弱者

でも追い詰められると強者に逆襲するという意味の「窮鼠猫を噛む」や、前ぶれの騒ぎばかり大きくて、実際の結果は極めて小さいことの例えである「泰山鳴動して鼠一匹」などは、よく知られています。「頭の黒い鼠」とは、頭髪の黒い人間をネズミになぞらえて、物を盗む人のこととです。「鼠の嫁入り」は、あれこれと選んでみても、結局は変わりばえしないところに落ち着く例えです。

さて、子ねは十二支のトップ。昨年は、天災や事件の多い年でしたが、今年には気分一新して、いい年になりますように。

本村もまだ色々な課題が山積しておりますが、住みよい誇りを持てるふるさとを念頭に置き、新年度は、特に高齢時代のニ

12月例会

平成六年度一般会計決算 特別会計決算 認定

十二月定例会は、十二月十二日から十九日までを会期として開催されました。

議会は、平成六年度一般会計や特別会計の決算が決算審査特別委員会で審議され本会議で認定されたほか、平成七年度補正予算や特別職、一般職の給与、手当等の条例の案件についても原案どおり可決されました。

おもな議案

■平成七年度一般会計補正予算
既定の歳入予算の総額に四千七百四十二千円を追加、百七十一万八千円を減額し、歳出予算の総額に九千八百五十五万五千円を追加、五千三百二十二万六千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ三十六億四千三百八十六万九千円としたものです。

十一月二十六日に小杉地区コミュニティセンターで、小杉地区の村政懇談会が開催され、約三十名の参加者がありました。村から村長はじめ各担当課長が出席し、次の内容についての質問や要望、意見交換が活発に行われました。

○委員
佐藤 豊次(横越・72歳)
高橋 悦朗(沢海・66歳)
難波 一仁(二本木・61歳)
鈴木新太郎(小杉・68歳)
○補充員
小武 孝栄(駒込・66歳)
江口 新衛(木津・57歳)
桜井 實(横越・63歳)
伊藤 新吉(沢海・57歳)

■監査委員の選任
今井 誠(木津・67歳)が再任されました。

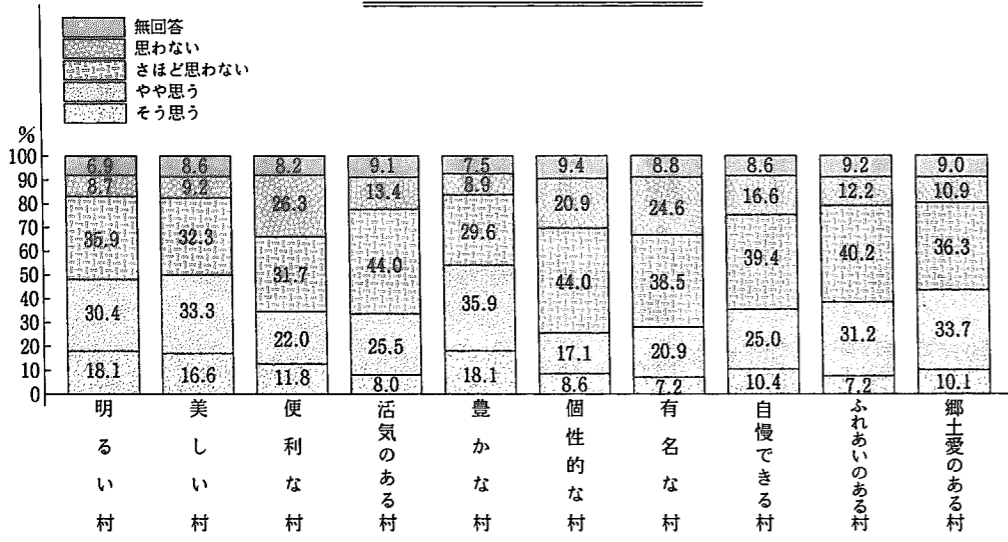
■選挙管理委員及び補充員の選挙が行われ次の委員・補充員の方々が決まりました。

・新五号道路沿いの旧阿賀用水路の埋立ての植栽計画
(排水路関係)
・下地区内の通学道路の北側排水路の泥上げ掃除
・産業道路沿いの宅排溝の「ためマス」の泥上げ掃除
・下水道事業の進捗状況
(土地改良区関係)
・大阿賀橋(仮名)の取付け道路の方線を現在ある道路または排水路沿いに計画して、少しでも直線で横越排水路に接続するよう県に強く要望して欲しい。

小杉地区 村政懇談会

町制施行に関する 住民意識調査結果(その2)

横越村の印象



村の印象として「思う」という回答が多かったのは10項目中の「明るく、美しく、豊かな村」の3項目でありました。他の7項目については「さほど思わない」とする回答が多く、特に「個性的な村、有名な村、便利な村」については低い評価がなされました。